



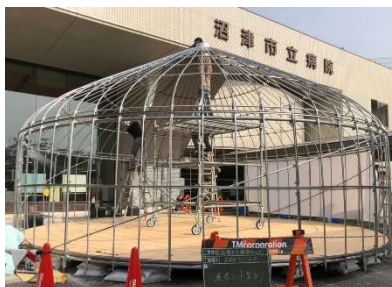
案件名：静岡県沼津市 沼津市立病院  
 規格：TYPEA Φ8.0m 防災膜TYPE  
 用途：発熱外来診察・待合室 他  
 出入口1箇所 医療従事者出入口1箇所  
 内装：床(合板24mm仕上げ)  
 条件：地盤勾配1.5% Co平板



出入口：スロープ



医療従事者出入口



簡易型 強構造骨材・床構造



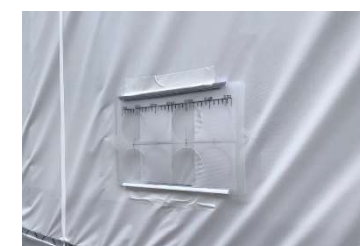
内膜金物養生・照明吊り可能



大空間・大断面・採光確保



周囲突起養生による安全性



給気・排気口(空調機器用)

### 耐強風・耐衝撃性

強風時の観測異常無し

### 自然上部換気

強制換気扇によりUP可能

### 外部短期設置

実施工日数 4~7日

### エネルギー循環効率

電気設備機器：AC100V

### コストパフォーマンス

農業用部材により経済的構造を実現

### リサイクル

防災・農業など多目的転用可能



### 検証結果

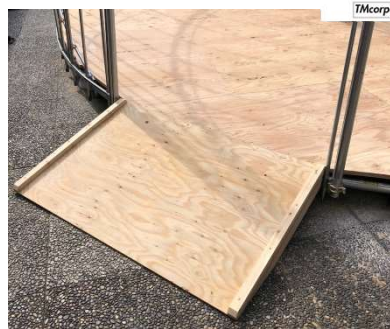
医療施設での設置は、病院外来時間を避けての設置の為、3~4時間/日の中で施工しなければならないが、大型車両・機械は搬入出来ないが、すべて人力施工が可能であるメリットが十分発揮できた。  
 設置前の病院入口での発熱患者に対する検温・誘導・対応に対する施設職員の労力は大きく抑える効果が得ることが出来ました。  
 県立・市立病院などの地方病院は患者を拒否することが出来ず、熱中症・感染第2波などへの前室受け入れ・対応は課題となり、医療従事者・外来患者への『安心』に活かしていただければと思います。



基礎杭工事（コア穴あけ・杭打ち込み）



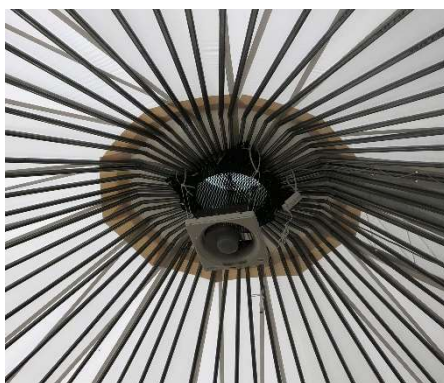
内幕材による内部金物養生



車椅子スロープ



骨組み立て



上部強制換気システム



壁面空調給気・排気口



床工事（土嚢レベリング）



入口2重カーテン



光触媒コーティング（抗菌）



外装膜材張り

### 多目的利用実例



**Q1** 行政における法的手続きはどのような対応となりますか？

**A1** あくまで静岡県沼津市での実例をもとに説明させていただきます。令和2年4月の特措法に基づき緊急仮設建築物として、建築確認申請機関・消防へ私共からの承認図『図面』による説明を病院側施設課にて対応して頂きました。行政側も特措法が抽象的であり『コロナ感染に限る』を解釈し3ヶ月後に再度相談となりました。承認図では現地に合わせた配置図による避難経路・施設導線などが必要となります。許可権者である行政への理解・対応となり、法的手続きは整備されていないのが現状です。尚、法第85条2項仮設建築物の緩和の適用となる場合は、手続き上の図面の提供をさせていただきます。

**Q2** 構造上の強度は大丈夫ですか、基礎構造はどのようになりますか？

**A2** 駐車場などの場合はΦ100のコア（穴開け）を行い、Φ48鋼管杭を60cm打ち込みます。円周の2m間隔程度の本数で基礎リング（Φ48）と固定します。尚、Φ48リングパイプは1.5mm肉厚で強固な部材となっております。  
現調により地盤の強度が不安定な場合は杭長さ、本数を増やすなどの対応をさせていただきます。開発段階での外部曝露試験による実績に基づいていますので安心して頂けると判断しています。

**Q3** 室内の換気・空調はどのように考えれば良いですか？

**A3** 外部換気窓からの給気により上部へ流れる構造となっております。空気の流れは給気量と熱分布のバランスが必要であり、夏場の冷房機器の排気（暖熱）は側面排気窓より排気して下さい。Φ8.0m規格でスポットクーラーAC100Vにより十分効果を発揮します。

**Q4** 内装における間仕切りはどのようにすれば良いですか？

**A4** 構造接続金物に穴があります。農業用では穴に紐・ワイヤーなどにより膜材を吊ってます。電気配線・添加機器など軽い重量であれば利用して頂ければ経済的です。

**Q5** 外装の膜材はどのような種類ですか？

**A5** 農業用のビニールハウスのような薄生地ビニールが標準で同等価格で防災までの対応は可能です。屋根膜材のみ厚膜生地でのテント生地構造は別途OPTIONで用意しております。利用期間・利用方法により選択して頂けます。

**Q6** 湿気・結露対策はどのようにすれば良いですか？

**A6** 内側に膜材を張り2重構造とし、小さい扇風機を下方向に円周沿いに動かしておくことと常に風の流れがあり、空気層効果により抑止できます。

